

第三者意見

昨年、この「第三者意見」で「新たな発展へ」の期待を述べた。その後、T&D保険グループのニュースが流れると自然と目が惹かれる。2012年3月期の保険料収入、基礎利益、ソルベンシー・マージン比率など着実な成績を目にした。日経ビジネス誌は大同生命と太陽生命の従業員のたゆまぬ販売努力を紹介した、等々。まずは東日本大震災を克服しつつ発展を支えたグループ各社の皆様に敬意を表したい。

今年の「フォーカス編」はトライ&ディスカバー精神の発露であろう。ステークホルダーの関心事を重要な項目に絞り、投げかける、分かり易く図解し要を得た説明で答える、というチャレンジングな新機軸である。基本を抑えており、現状を把握しやすい。

次いで、読んでみて幾つか感じた点を申し述べたい。

①CSR憲章「3.人権の尊重」に関しては、従業員のみならず関連ステークホルダー（例えばお客さまや取引業者）の人権を尊重しているか、「人権というレンズ」を大切にしてくださるよう希望したい。

②同「4.コミュニケーション」に関しては、書類や電子的手段のみでは不十分であり、フェイス・ツウ・フェイスが基本であり重要であると強調したい。併せて、言いたいことは率直に言える職場風土づくり、ならびに、遠慮のない議論を存分に交わすことによるグループ企業間の切磋琢磨とシナジー効果づくりは、時節柄、必要性と緊迫度を増していると考えられる。

③生命保険業は、相互扶助を原則として公共性・社会性が強く、社会の変化に対応して社会的責任を本業で果たしていく事業である。「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」は、「21世紀の金融の新しい役割は持続可能な社会の形成を推進する取組みにある」と指摘する。T&D保険グループはこの方向に沿って金融機能をさらに有効に活かすよう期待され、説明責任も求められよう。

④人口動態が変化し、拡大、収縮する市場がある中で、T&D保険グループはどう対応していくか。求心力を高めるために、もう一歩踏み込んだ説明があって良いのではないか。

⑤経営理念、経営ビジョン、基本方針、CSR憲章はグループを結集するかなめであり、行動の原点である。乖離して誇りと緊張感に欠けたビジネスをしていないか、この機会に各職場で自戒してみることも意義があろう。



企業行動研究センター
所長 菱山隆二氏

Profile

三菱石油（現在のJX日鉱日石エネルギー）で国内外の多様な仕事をこなし顧問を最後に退任。米国のペンタレー大学経営倫理研究センターで特別客員研究員。帰国後、企業行動研究センターを設立。企業倫理・企業の社会的責任（CSR）、社会的責任投資（SRI）の浸透をミッションとして、企業のコンサルティング、大学出講、関連NPO法人の理事を務める。著作は松本恒雄監修「ISO26000:実践ガイド」（共著中央経済社）ほか多数。

CSRレポート2012 フォーカス編

わたしたちのCSR



株式会社 T&Dホールディングス

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番3号 TEL: 03-3434-9111(代)
http://www.td-holdings.co.jp/ mail: csr@td-holdings.co.jp

未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ 25
T&Dホールディングスは、地球温暖化防止国民運動チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

地球のいのち、つないでいこう
わたしたちは生物多様性に配慮しています

GPN Green Purchasing Network
グリーン購入に取り組んでいます。

3.9 GREENSTYLE
A-(1)-100073

里山物語

本レポートは、印刷用紙に生物多様性の保全に貢献する「里山物語」、インキは100%植物油（NON VOC）インキを使用しています。また、印刷工程ではフィルムを使用しない「CTP」、有害廃液を出さない「水なし印刷方式」で印刷しています。

Vegetable INK for waterless printing
Non Volatile Organic Compounds

Waterless Printing Naturally



T&D保険グループは、 どんなグループなの？



T&Dホールディングス
代表取締役社長
中込 賢次

T&D保険グループは、
「持株会社」である
T&Dホールディングスのもと、
太陽生命、大同生命、
T&Dフィナンシャル生命という
「3つの生命保険会社」を
中心とする企業グループです。

「ご家族」の万が一に備える保険で強みを持つ太陽生命、日本を支える「中小企業」向けの保険で強みを持つ大同生命、「金融機関の窓口」を通じてお届けする保険で強みを持つT&Dフィナンシャル生命。
それぞれがビジネスモデルにおける強みと独自性を最大限発揮し、皆さまの暮らしとビジネスをサポートしています。

グループ規模

従業員数(※1)

23,160人

保有契約高(※2)

58兆4,146億円

新契約高(※3)

6兆3,496億円

※1 T&Dホールディングス連結(臨時従業員を含む)、2012年3月末現在
※2 生保3社単純合算(個人保険・個人年金保険)、2012年3月末現在
※3 生保3社単純合算(個人保険・個人年金保険)、2012年3月期

グループの健全性
(ソルベンシー・マージン比率)

通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「保険金の支払余力」を有しているかどうかを判断するための行政監督上の指標の一つであり、200%以上であれば、健全性についての一つの基準を満たしていることを示します。

T&Dホールディングス
(連結)

810.6%

太陽生命(単体)

747.3%

大同生命(単体)

851.9%

T&Dフィナンシャル生命
(単体)

553.7%

2012年3月末現在

ご家庭へ

太陽生命

ご家族の万が一に備える、死亡・医療・介護保障を中心とした総合生活保障の商品販売を推進しています。営業職員が、お客さまを訪問し、最適な保険商品をご提案します。

主な商品:死亡保障+医療・介護保障等



中小企業へ

DAIDO 大同生命

企業経営者のさまざまなリスクをカバーするために、多数の企業および税理士・公認会計士を会員とする各種団体と提携し、中小企業のお客さまに対して充実した福利厚生制度をお届けします。

主な商品:個人定期保険、重大疾病保障保険等



アッパーミドル層へ

T&Dフィナンシャル生命

金融機関等の窓口を通じて、お客さまのニーズに合った生命保険商品をご提供します。

主な商品:終身保険等



その他のグループ会社

保険事業

ベット&ファミリー少額短期保険株式会社

保険関連事業

T&Dコンファーム株式会社/東陽保険代行株式会社/株式会社大同マネジメントサービス

投資運用・投資助言事業等

T&Dアセットマネジメント株式会社/T&Dアセットマネジメント(U.S.A.)株式会社

その他の資産運用関連事業

T&Dリース株式会社/T&Dアセットマネジメントケイマン株式会社/太陽信用保証株式会社

イー・アイ・キャピタル株式会社/AICプライベート エクイティ ファンド ジェネラルパートナー株式会社

総務関連事業

T&Dカスタマーサービス株式会社

事務代行・計算関連事業等

T&D情報システム株式会社/日本システム収納株式会社/株式会社全国ビジネスセンター

T&Dホールディングス

「T&D」は、「Try & Discover」の頭文字。「挑戦と発見」によって新たな価値を創造し、皆さまのお役に立つ企業グループでありたいとの信念から、そう名づけました。



T&D保険グループのCSRは どんな考えに基づいているの？

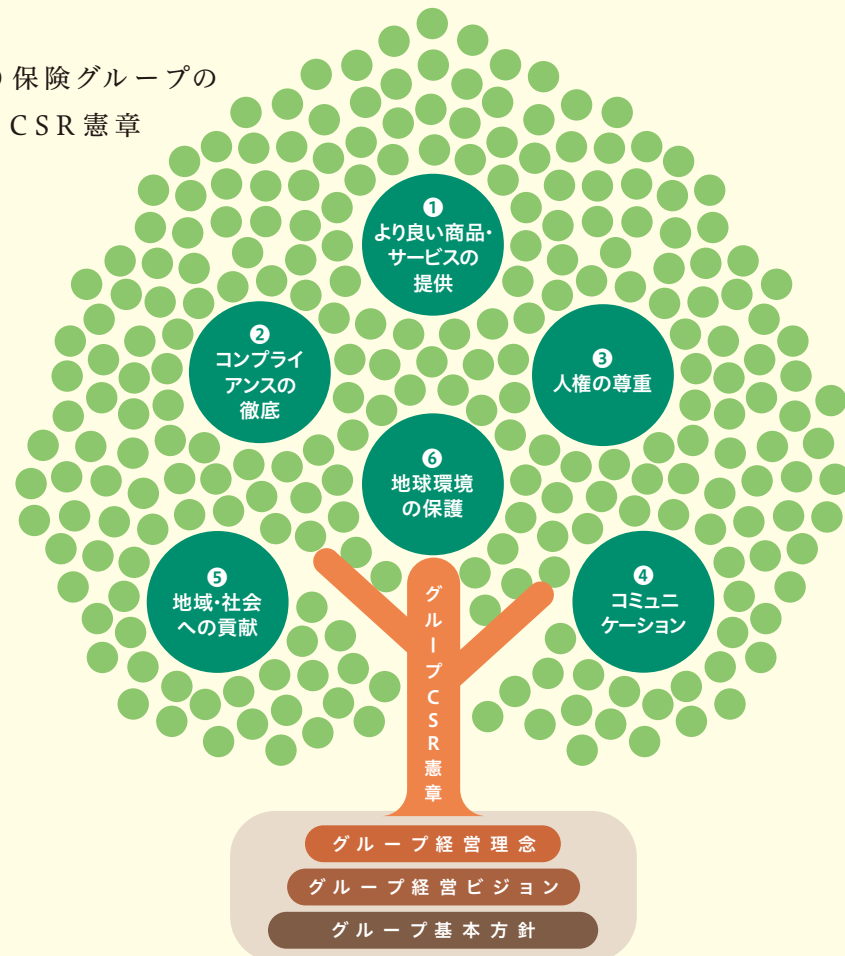


T&Dホールディングス
経営企画部部长
土肥 勇二

わたしたちにとってCSRとは、これからもずっと皆さまに選ばれ、わたしたちの事業を通して皆さまのお役に立つ企業グループであり続けること。皆さまに心から信頼していただき、新たな価値の創造と持続的な成長を遂げるために不可欠なことを謳ったのが、CSR憲章です。

わたしたちグループには、事業をどのように営んでいくのかを示した、「グループ経営理念」「グループ経営ビジョン」「グループ基本方針」という共通の考え方、土壌があります。「CSR憲章」はそこに根を張る一本の樹であり、「社会からの信頼」の原点です。

T&D 保険グループの
CSR 憲章



グループCSRのフレームワーク

T&D保険グループの一人ひとりが考え方を共有し、それぞれの職場で期待される役割を果たし、CSRの実践に努めています。

グループCSR憲章

T&D保険グループは、経営理念に基づき、社会とともに持続的成長を遂げ、生命保険業等の公共的使命と企業の社会的責任を果たします。

1. より良い商品・サービスの提供

お客さまのニーズにあった最適で質の高い商品・サービスを提供します。

2. コンプライアンスの徹底

- ・法令、ルール等を厳格に遵守し、誠実に行動します。
- ・公正かつ自由な競争を維持・促進します。
- ・市民社会の秩序や安全をおびやかす反社会的勢力や団体に対しては、毅然とした態度で対応します。

3. 人権の尊重

- ・人権を尊重し、人権啓発に積極的に取り組みます。
- ・従業員の人格を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、人材育成を図ります。
- ・プライバシーを尊重し、個人情報の管理・保護を徹底します。

4. コミュニケーション

お客さまや株主はもとより広く社会に対して、経営情報を適時適切に開示するとともに、積極的に対話を図ります。

5. 地域・社会への貢献

良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行い、地域・社会の健全な発展に貢献します。

6. 地球環境の保護

企業活動に際して、環境問題の重要性を十分認識し、地球環境の保護に配慮して行動します。

グループ経営理念

Try & Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営ビジョン

《お客さまからの視点》

私たちは、最優の商品・サービスの提供により、お客さま満足度のトップを目指します

《株主・投資家・市場からの視点》

私たちは、成長に向けた新たな挑戦により、安定的・持続的に企業価値を向上させ、確固たる存在感のある大手生保グループを目指します

グループ基本方針

1. お客さまニーズにマッチした商品・サービスを正確・迅速・親切・丁寧に提供します
2. 持株会社の組織形態のもとで、グループ各社が強みを最大限発揮できるグループ経営を維持・発展させます
3. 収益・リスク・資本の一体的な管理態勢を整備・構築し、安定的・持続的にEVを成長させます
4. 中長期的に提携やM&A等により生保事業の拡大や、新たな事業領域への進出を目指します
5. お客さまや株主をはじめ広く社会に対して、生保事業の公共的使命と企業の社会的責任を果たします



お客様の声を、
どのように経営に
役立てていますか？



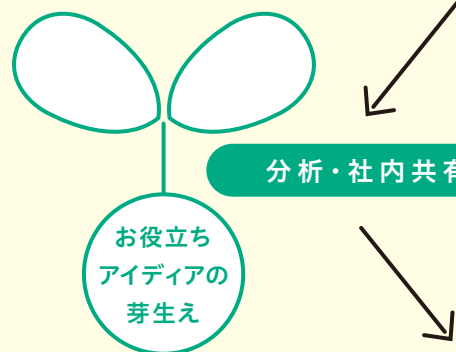
わたしたちは、お客様の声を
よくお聴きし、最も優れた
商品・サービスの提供を通じて
「お客様満足度のトップ」を
目指します！

左上から時計回りに、
T&Dフィナンシャル生命
お客様サービス課 澤井 琢磨、
大同生命 営業企画課 魚本 健司、
太陽生命 牛久支社 椎名 晴香

生保3社では、お客さまとの接点を多数設置し、
できるだけ多くのお客さまの声を聴きしています。

T & D 保険グループの
サービス改善の取り組み

お客様の声などの情報収集



アイデアの実現



お客様の声を真摯に受け止め、データベースを活用して情報を共有し、社会全体の課題などの情報とともに分析。少しでもお客さまのお役に立つために、商品・サービスの開発や品質向上、業務の改善に努めています。

より良い商品・サービスの提供

太陽生命

進化し続ける『保険組曲Best』

太陽生命が2008年に発売した『保険組曲Best』は、それまでの保険の常識にとらわれず、本当にお客さまが必要とする保障を提供したいという思いから開発した商品です。一つひとつの保険を主契約とすることで、お客さまが必要とする保障を、必要とする期間、自由に組み合わせることを実現しました。発売以降、2010年には、死亡・高度障害状態になった場合に年金を毎年お受け取りいただける『生活応援保険』を、2011年には、『生活応援保険』に『介護型』を追加するなど、幅広いニーズにお応えできる商品に進化しています。今後もより幅広いお客さまのニーズにお応えできるように、『保険組曲Best』を進化させてまいります。



大同生命

『Jタイプ』に『Jワイド特約』 『Jタイプ(無解約払戻金・無死亡給付金型)』を追加

中小企業経営者が重大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)に罹患され、一時的な不在やリタイアせざるを得ない場合に備えていただくための保険として『Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)』を2010年よりご提供しています。さらに、お客さまのご要望も踏まえ、2012年6月には、より幅広い重大疾病をカバーする『Jワイド特約』や、従来より割安な保険料で重大疾病に対するリスクに備えられる『Jタイプ(無解約払戻金・無死亡給付金型)』を発売し、商品ラインアップを拡充しました。



商品パンフレット

T&Dフィナンシャル生命

『生涯プレミアム・ジャパン』の販売を開始

2011年8月より販売を開始した『生涯プレミアム・ジャパン』は、積立金とは別に被保険者の生涯にわたり毎年所定の追加額が確定保険金額に加算され、お客さまがいつでも確定保険金額の全部払い出しができる、一時払の終身保険です。販売代理店は42金融機関(※)と拡大し、これからは代理店と二人三脚で、お客さまのゆとりあるセカンドライフのニーズに幅広くお応えしてまいります。※2012年8月末時点



商品パンフレット

このページの保険商品に関する記載は、T&D保険グループのCSRについてご説明するためのもので、保険募集を目的としたものではありません。商品の詳細については、「商品パンフレット」などをご覧ください。

新携帯端末でお手続きや ご相談が“簡単・便利・迅速”に [太陽生命]

2012年3月より、営業職員が使用する新しい携帯端末を活用した「ご契約申込手続きの電子化」を推進しています。これにより、ご契約申込手続きのペーパーレス化や、第1回保険料のキャッシュレス化を実現し、申込手続きから保障開始までの期間の短縮に努めています。また、携帯端末のテレビ電話機能を活用し、お客さま宅と本社専門部署をテレビ電話でつなぎ、各種ご照会等への対応を実現することで、高品質のサービス提供に努めています。



新携帯端末で商品をご提案

お客さまニーズを 確認させていただく活動を全社展開 [大同生命]

生命保険は長期間のご契約となることから、ご加入からの期間の経過に伴い、お客さまのニーズが変化していることが考えられます。そこで、毎年1回、現在のご加入内容のご説明やそれぞれのお客さまに必要な保障額を踏まえたアドバイス等を通じて、お客さまの現在のニーズと保障内容のマッチング状況を確認させていただき活動を、2011年より全社で展開しております。

東日本大震災 お客さまの安否の確認はほぼ100%終了 [生保3社]

東日本大震災の被災地域(岩手県・宮城県・福島県)におけるお客さまの安否のご確認は、着実に進展。2012年3月時点で、ほぼすべてのお客さまの安否をご確認いたしました。今後とも、保険業を通じて被災地のお客さまのお役にたつよう努めてまいります。



従業員がイキイキと働けるグループですか？



女性活躍ワーキンググループ(※)のメンバー

わたしたちは「多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮できる企業風土づくり」を経営施策の1つとして掲げています。

さまざまな研修の実施や働きやすい制度の導入など、誰もが自らの能力を発揮し、イキイキと働ける職場づくりに努めています！ 保険というカタチのない商品を通して皆さまのお役に立ち、企業として成長するためには、さまざまなヒトの力が必要です。そのために、従業員の活躍を支援する各種制度の導入とその活用促進や、研修の実施に積極的に取り組んでいます。

人権の尊重

T & D 保険グループの人材活用

多様性の取り組み

女性の活躍支援
障がい者雇用
定年退職者の再雇用
人権に関する研修

従業員の成長を促す研修

OJT
集合研修
通信教育

働きやすい職場環境

次世代育成支援
従業員の意識調査
メンタルヘルス研修

(※)女性活躍ワーキンググループ

T&D保険グループは、共同で女性活躍の推進に取り組んでいます。2011年8月にはT&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の女性職員によるワーキンググループを設置し、グループ合同セミナーの企画・運営やグループ内への周知活動等を行っています。

前列 左から右へ
大内 智子(T&Dフィナンシャル生命)、
小林 加奈、近藤 道子、黒田 朋子(大同生命)
後列 左から右へ
岸田 暁子(T&Dホールディングス)
松島 智恵、横屋 桜子(太陽生命)、
稲垣 由紀子(T&Dホールディングス)

太陽生命

「ダイバーシティ推進プロジェクト・チーム」の設置

太陽生命では、すべての従業員が職種・性別等に関わらず、能力を最大限に発揮できるよう取り組んでいます。その一環として、人材育成・意識改革等にかかる各種施策を全社横断的、継続的に検討・実施するために、2012年9月、「ダイバーシティ推進プロジェクト・チーム」を設置しました。このプロジェクト・チームでは、すべての従業員が活躍・成長できる会社を目指して、取り組んでいます。

T & D 保険グループ

グループ合同で女性の活躍をテーマとしたセミナーを開催

T&D保険グループでは、女性職員のチャレンジとキャリアアップの支援を目的に2011年12月14日にグループ合同女性セミナーを開催し、生保3社の女性役員および中堅職員層190人が参加しました。セミナーの第1部では、生命保険業界初の女性役員となられた湯本壬喜枝氏より、「限界を決めないでチャレンジするのは面白い」と題して講演いただきました。第2部のグループディスカッションでは、2〜3人のグループで「成果を挙げながら成長していくために、明日から取り組めること」について話し合い、部下・後輩への提言の形にまとめて発表を行いました。また、2012年2月8日にはグループ合同部長セミナーを開催しました。T&Dホールディングス・中核3生保・T&Dアセットマネジメントの役員およびライン部長層を中心とした管理職223人に対し、「戦略課題としてのダイバーシティ・マネジメント～女性がさらに活躍する環境の実現について」というテーマで湯本氏よりご講演いただきました。



湯本壬喜枝氏



女性セミナー会場



部長セミナー

大同生命

ファミリー転勤制度・ジョブリターン制度の導入

大同生命では、「仕事と生活の両立」「女性の活躍支援」の観点から、「ファミリー転勤制度」「ジョブリターン制度」を2012年から導入しました。「ファミリー転勤制度」は配偶者の転勤等にあわせて、その随伴のための転勤を認める制度であり、「ジョブリターン制度」は結婚・育児等を理由に退職した方を再雇用する制度です。制度の利用者からは、制度に対するご意見とともに、「大同生命での経験を活かして働き続けることができ良かった」などの声が上がっており、働きがいの一層の向上にもつながっています。今後も、制度利用者がさらに増えていくよう取り組んでまいります。



制度を利用した職員の座談会

T & D 保険グループ

次世代育成支援の取り組み

T&D保険グループでは、従業員の能力発揮と働きがいのある職場づくりの一環として、ワーク・ライフ・バランスの実現を推進しています。仕事と育児を両立させる次世代育成支援も、重要な取り組みの一つです。中核生保3社は、次世代育成支援対策推進法が施行された2005年4月から、協力して統一した行動計画を2年ごとに策定し、基準適合一般事業主として認定されています。また、T&D情報システムは2008年4月に300人以下の企業、情報サービス業として埼玉県内で初めて基準適合一般事業主として認定を受け、継続して次世代育成支援に取り組んでいます。



育児休業取得者(男性)の声

大同生命 保険金部 支払企画課
三戸 雅史



第二子の出産時に3歳の娘の面倒を見るために育児休業を取得しました。第一子の出産時にも取得したのですが、今回は約2週間取得しました。取得にあたり、上司や同僚に理解いただき感謝しています。現在、「イクメン」ブームですが機会があれば、一度しかないこの時期を家族と一緒に過ごさせてはどうでしょうか。



未来の地球のために、 どんな活動をしているの？



太陽生命
町田支社
佐藤 大介

すべての事業活動を通じて
持続可能な社会に貢献しようと、
わたしたちが守るべき環境方針を
制定し、できることを考え、
一つひとつ実践しています。

日々の仕事においてできるだけ電気を使わない、資源のムダ
を無くすなど、足下からコツコツ取り組むとともに、金融機関
として、投資家として、持続可能な社会について考えて行動
します。

「グループ環境方針」
の概要



地球環境の保護

T & D 保険グループ

■環境負荷の低減

クールビズ・ウォームビズの実施

T&D保険グループでは、毎年6月から9月まで冷房温度を28℃に設定する「クールビズ」を、11月から3月までの間は室温を20℃に設定する「ウォームビズ」を実施し、地球温暖化防止に努めています。なお、2011年度は5月から10月までクールビズの期間を拡大しました。



徹底した節電により、電力使用量を15.8%削減

T&D保険グループの業務における環境負荷は、電力の使用に伴うものがほとんどであり、環境に配慮した事業活動として、節電への取り組みは大変重要です。2011年度は、従前から取り組んでいた「昼休みの消灯、離席時のPCスタンバイ設定、時間外空調管理の徹底、コピー機・プリンターの電源OFF等の施策」の一層の徹底を図りました。東日本大震災による電力不足への対応として、クールビズの実施期間拡大、日中の消灯・減灯、エレベーターの使用制限などのグループ共通の節電対策を実施しました。また、太陽生命と大同生命では、東京電力・東北電力管内の本社・支社などで輪番休業などの対応も実施しました。結果としてグループ全体の電力使用量は109,570MWhとなり、2010年度の130,174MWhと比較して、15.8%削減することができました。



2012年度もグループを挙げて、節電を実施

2012年度も引き続き電力不足が懸念される中で、クールビズや日中の消灯・減灯、エレベーターの使用制限等、グループ共通の節電対策を継続しています。また各社で工夫し、省電力型の照明(LED照明等)への切り替えや、電力消費が目標を超えないように監視する対策を行っている事業所もあります。さらに、機器ごとの消費電力をステッカー表示し待機電力の削減意識を高めたり、家庭においても節電の取り組みを奨励したりするなど、きめ細かい対応も実施しています。

■2つの重要な原則に署名

太陽生命

21世紀金融行動原則に署名

2011年11月15日、「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名しました。同原則は、環境に寄与する産業の発展や市民の環境意識向上をサポートすることなどを目的に環境省が事務局となり、幅広い金融機関で構成した起草委員会が策定したものです。これまでも太陽生命は国連責任投資原則(PRI)に署名し、環境、社会、ガバナンスの各課題を踏まえて資産運用を行ってまいりましたが、今後はさらに幅広い観点から持続可能な社会を作る取り組みを進めていきます。

■21世紀金融行動原則の概要

1. 自らの責任と役割を認識し、事業を通じ持続可能な社会の形成に向けた最善の取り組みを推進します。
2. 「持続可能な社会の形成に寄与する産業」の発展に資する金融商品・サービスを開発・提供します。
3. 中小企業などの環境配慮や市民の環境意識の向上、災害への備えやコミュニティ活動をサポートします。
4. 持続可能な社会を目指し、多様なステークホルダーと連携しつつ、取り組みの主体的な役割を担います。
5. 省資源・省エネルギーなどの環境負荷の軽減に積極的に取り組み、サプライヤーにも働きかけます。
6. 社会の持続可能性を高める活動が経営的な課題であると認識し、取り組みの情報開示に努めます。
7. 上記の取り組みを日常業務において積極的に実践するために、環境や社会の問題に対する自社の役職員の意識向上を図ります。



森林の育林活動

T&Dアセットマネジメント

国連責任投資原則(PRI)に署名

T&Dアセットマネジメントは、国連責任投資原則(PRI)の考え方に賛同し、2012年3月に署名しました。これにより、受託者責任に反しない範囲で、ESG(環境・社会・企業統治)の要素を投資プロセスに反映させます。T&Dアセットマネジメントでは、ESGに配慮した事業活動を行う企業は広く社会から評価され、持続的に発展できると考えており、企業評価にESGの要素を取り入れることを通じて、長期的な運用パフォーマンスの向上を目指します。



地域や社会のために、続けている
取り組みはありますか？

地域・社会への貢献



大同生命
中部T&C企業
保険支社
岐阜推進課
稲垣 里美

生命保険を通じて社会に貢献するだけでなく、
より良い地域や
社会をつくる取り組みを継続しています。

グループという広がりを活かし、一社の取り組み
を他社でも共有する活動を推進しています。

太陽生命

「全国一斉クリーン・キャンペーン」に 9,000人超が参加

太陽生命では、「全国一斉クリーンキャンペーン」を年1回実施しています。これは、日頃お世話になっている事業所周辺地域の清掃活動を全国で一斉に行うもので、2011年度は本社、支社、関連会社、T&D保険グループ各社の役職員とその家族、約9,700人が参加しました。本社（東京都港区）では、地元の事業者・住民・自治体と連携し、地域に密着した取り組みとして実施しています。これからも、全国各地で、それぞれの地域と連携した取り組みを進めてまいります。



(写真左上から時計回り)大同生命、T&Dフィナンシャル生命、太陽生命、ペット&ファミリー少額短期保険からの参加者

大同生命

「全国障害者スポーツ大会」への 特別協賛

障がいのある方による国内最大のスポーツの祭典である「全国障害者スポーツ大会」に特別協賛しています。同大会は、「障がいのある方が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与すること」を目的に開催されています。大同生命では、前身の「全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）」が始まった1992年から継続して協賛しています。

2011年開催の第11回大会（おいでませ！山口大会）には、延べ191人の役職員がボランティアとして参加しました。2012年も、岐阜県で開催される第12回大会（ぎふ清流大会）に特別協賛しています。



競技の様子



大同生命のボランティア

太陽生命のボランティア

Top Message



株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

中込 賢次

「グループの広がり」と「深さ」を基盤に、 変化の中から新たな価値の創出へ

T&D保険グループは、生命保険業を100年以上にわたり営んできた歴史ある企業を中核に据え、何よりも本業を通じて社会的責任を果たすことが大切と考え、行動してまいりました。

ここでいう社会的責任とは、お客さま、株主、地域社会、従業員など、事業を行っていく上で関わるすべてのステークホルダー（利害関係者）に対して負う責任です。永続的に社会とともに成長できる企業グループであるためには、社会的責任の自覚のもとに、あらゆるステークホルダーの皆さまから必要とされ、信頼される企業行動が不可欠です。

わたしたちには、グループ共通の経営理念、ビジョン、基本方針、CSR憲章があります。現在、グループ各社はそれぞれ特長と独自性あるビジネスモデルにより事業を展開しています。その中で、各社が協力しあえる強い信頼関係で結ばれているのは、こうした共通の考えがすべての事業のベースにあるからです。わたしたちは、各社がそれぞれの強みを最大限に活かしながら、互いの価値を認識し、情報を共有し、切磋琢磨し、時には競争することで一層強いグループになれると考えます。

企業が持続するためには、5年先、10年先の成長のためにどのようにしたらよいかを常に考え、絶えず変化する社会に対応していくことが必要です。日本では少子高齢化、雇用形態の変化などに伴う問題が顕在化しています。わたしたちは社会の変化に誠実に向き合い、「商品・サービスの提供」「多様な人材活用」など、一つひとつの課題を新たな価値創出の機会へと転じ、「グループの広がり」と「深さ」を基盤にステークホルダーの皆さまのご期待に応えてまいります。

相互扶助を原則とする「保険」とはそもそも極めて公共性・社会性の強い事業であり、わたしたちには「CSR」という言葉が定着する以前から社会的責任を果たすべく行動してきた風土があります。T&D保険グループはそのことに強い誇りと自覚を持ち、今後も「Try & Discover（挑戦と発見）」という変わらない信念のもと、あらゆるステークホルダーの声に耳を傾け、社会とともに変化し続けてまいります。

2011年度 グループCSR活動報告

T&D保険グループでは、グループCSR委員会を軸として、各社およびグループ共同のCSR活動について、その計画と実施状況を共有し、「活動の広がり」と「深さ」を向上すべく、一体的にCSRを推進しています。2011年度の取り組みの一部を、CSR憲章の各項目別に一覧表でご紹介します。

T&D保険グループでは、CSRについて詳細を記載した「T&D保険グループCSRレポート データ編」を発行しています。「データ編」は、T&DホールディングスのWebサイト (<http://www.td-holdings.co.jp/csr/report/>) でご覧いただけます。



T&D保険グループ CSR憲章の項目	2011年度の取り組み事例									
(1) より良い商品・サービスの提供	<p>▶ お客さまの声をもとに、商品・サービスを改善しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>改善事例の一部</td> <td>平日にお忙しいお客さまへの対応として、お客様サービスセンターの日曜日営業の開始</td> <td>太陽生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>法人のお客さまの決算申告時にあわせてお届けしている経理処理案内サービスに、「資産計上額累計」を新たに表示</td> <td>大同生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>告知書を改善し、書面への情報のプレプリントや記入項目の見直しなどにより、ご記入の負担を軽減</td> <td>T&Dフィナンシャル生命</td> </tr> </table>	改善事例の一部	平日にお忙しいお客さまへの対応として、お客様サービスセンターの日曜日営業の開始	太陽生命		法人のお客さまの決算申告時にあわせてお届けしている経理処理案内サービスに、「資産計上額累計」を新たに表示	大同生命		告知書を改善し、書面への情報のプレプリントや記入項目の見直しなどにより、ご記入の負担を軽減	T&Dフィナンシャル生命
	改善事例の一部	平日にお忙しいお客さまへの対応として、お客様サービスセンターの日曜日営業の開始	太陽生命							
	法人のお客さまの決算申告時にあわせてお届けしている経理処理案内サービスに、「資産計上額累計」を新たに表示	大同生命								
	告知書を改善し、書面への情報のプレプリントや記入項目の見直しなどにより、ご記入の負担を軽減	T&Dフィナンシャル生命								
	<p>▶ お客さまの視点を経営に活かす取り組みを継続しています。</p> <table border="1"> <tr> <td>取り組み事例の一部</td> <td>苦情対応マネジメント規格「ISO10002」の第三者認証を更新</td> <td>太陽生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>「商品・サービス」「アフターフォロー」などに関するアンケート調査を実施</td> <td>大同生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>「お客さま満足度に関するアンケート」を実施</td> <td>T&Dフィナンシャル生命</td> </tr> </table>	取り組み事例の一部	苦情対応マネジメント規格「ISO10002」の第三者認証を更新	太陽生命		「商品・サービス」「アフターフォロー」などに関するアンケート調査を実施	大同生命		「お客さま満足度に関するアンケート」を実施	T&Dフィナンシャル生命
取り組み事例の一部	苦情対応マネジメント規格「ISO10002」の第三者認証を更新	太陽生命								
	「商品・サービス」「アフターフォロー」などに関するアンケート調査を実施	大同生命								
	「お客さま満足度に関するアンケート」を実施	T&Dフィナンシャル生命								
(2) コンプライアンスの徹底	<p>▶ 法令等を厳格に遵守し、誠実に行動するため、すべてのグループ役員に対し、以下の施策を継続的に実施しています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンスマニュアルの見直しと最新版の配布 ●コンプライアンス研修の実施 ●グループ報、社内報などを通じ、コンプライアンスに関する啓発を促進 </td> <td>各社</td> </tr> </table> <p><small>※全役員に配布した「グループ報」では、以下のテーマで情報を提供する「コンプライアンス通信」を掲載しました。 反社会的勢力対応態勢／個人情報取り扱い／苦情・相談対応態勢／ハラスメント</small></p>		<ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンスマニュアルの見直しと最新版の配布 ●コンプライアンス研修の実施 ●グループ報、社内報などを通じ、コンプライアンスに関する啓発を促進 	各社						
	<ul style="list-style-type: none"> ●コンプライアンスマニュアルの見直しと最新版の配布 ●コンプライアンス研修の実施 ●グループ報、社内報などを通じ、コンプライアンスに関する啓発を促進 	各社								
(3) 人権の尊重	<p>▶ 勉強会やe-ラーニングを使った研修を定期的実施し、人権啓発に積極的に取り組んでいます。</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ例</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●職場のコミュニケーションとハラスメント防止 ●同和問題について </td> <td>各社</td> </tr> </table>	テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> ●職場のコミュニケーションとハラスメント防止 ●同和問題について 	各社						
	テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> ●職場のコミュニケーションとハラスメント防止 ●同和問題について 	各社							
	<p>▶ 多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮するための施策を実施しています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●次世代育成支援対策推進法への対応 ●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●女性の活躍を推進 </td> <td>各社</td> </tr> </table> <p><small>※2012年度は、女性の活躍を推進するための発展的な取り組みを、継続して実施していきます。</small></p>		<ul style="list-style-type: none"> ●次世代育成支援対策推進法への対応 ●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●女性の活躍を推進 	各社						
	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代育成支援対策推進法への対応 ●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●女性の活躍を推進 	各社								

T&D保険グループ CSR憲章の項目	2011年度の取り組み事例																		
(4) コミュニケーション	<p>▶ お客さまや株主、お取引先さまをはじめ、従業員に対しても積極的な情報開示と対話を図っています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ご契約者さまとの懇談会を実施</td> <td>太陽生命 大同生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種提携団体や税理士・公認会計士等の代理店の方々とのコミュニケーションを図る「事業報告懇談会」を実施</td> <td>大同生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>株主・投資家の皆さまへ、積極的なIR活動の実施</td> <td>グループ共同</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グループ報、社内報の活用によるグループ内の情報共有、CSRへの理解促進を図るコミュニケーションの実施</td> <td>各社</td> </tr> </table>		ご契約者さまとの懇談会を実施	太陽生命 大同生命		各種提携団体や税理士・公認会計士等の代理店の方々とのコミュニケーションを図る「事業報告懇談会」を実施	大同生命		株主・投資家の皆さまへ、積極的なIR活動の実施	グループ共同		グループ報、社内報の活用によるグループ内の情報共有、CSRへの理解促進を図るコミュニケーションの実施	各社						
		ご契約者さまとの懇談会を実施	太陽生命 大同生命																
		各種提携団体や税理士・公認会計士等の代理店の方々とのコミュニケーションを図る「事業報告懇談会」を実施	大同生命																
		株主・投資家の皆さまへ、積極的なIR活動の実施	グループ共同																
	グループ報、社内報の活用によるグループ内の情報共有、CSRへの理解促進を図るコミュニケーションの実施	各社																	
(5) 地域・社会への貢献	<p>▶ 地域・社会への貢献活動を積極的に行っています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●全国一斉クリーン・キャンペーン実施 ●日本ダウン症協会への支援 </td> <td>太陽生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●全国障害者スポーツ大会への特別協賛 ●寄付による大学でのオープン講座の実施 </td> <td>大同生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災被災地の支社に応援要員を派遣 ●義援金を寄贈 </td> <td>各社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>津波の被害を受けた岩手県陸前高田市に「復興支援ボランティア」を派遣</td> <td>グループ共同</td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ●全国一斉クリーン・キャンペーン実施 ●日本ダウン症協会への支援 	太陽生命		<ul style="list-style-type: none"> ●全国障害者スポーツ大会への特別協賛 ●寄付による大学でのオープン講座の実施 	大同生命		<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災被災地の支社に応援要員を派遣 ●義援金を寄贈 	各社		津波の被害を受けた岩手県陸前高田市に「復興支援ボランティア」を派遣	グループ共同						
		<ul style="list-style-type: none"> ●全国一斉クリーン・キャンペーン実施 ●日本ダウン症協会への支援 	太陽生命																
		<ul style="list-style-type: none"> ●全国障害者スポーツ大会への特別協賛 ●寄付による大学でのオープン講座の実施 	大同生命																
		<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災被災地の支社に応援要員を派遣 ●義援金を寄贈 	各社																
	津波の被害を受けた岩手県陸前高田市に「復興支援ボランティア」を派遣	グループ共同																	
(6) 地球環境の保護	<p>▶ すべての事業活動を通じ、地球環境の保護に配慮し行動しています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>クールビズ(5月～10月)／ウォームビズ(11月～3月)を実施</td> <td>各社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オフィスの照明の消灯・減灯、エレベーター・エスカレーターの一部停止</td> <td>各社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イントラネットで「節電対策コーナー」を新設し、日々の電力使用量を見える化</td> <td>T&Dフィナンシャル生命</td> </tr> </table> <p><small>※電力使用量の削減・抑制に努め、グループ共通の削減目標を達成しました。 ※事務用紙使用量の削減・抑制に努め、削減目標を達成しました。 ※グリーン購入目標を設定し、環境に配慮した物品・消耗品を優先的に使用し、グリーン購入比率は80%以上を達成しました。</small></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>「太陽生命の森林」「太陽生命くつきの森林」における森林保全・育林活動</td> <td>太陽生命</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンケート連動募金によるNPO法人「里山保全再生プロジェクト」への支援</td> <td>グループ共同</td> </tr> </table> <p><small>※森林の保護・育成のための取り組みを継続的に実施しています。</small></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>UNEP(国連環境計画)公式機関誌の発行などを行う、公益財団法人「地球友の会」への支援</td> <td>T&Dホールディングス</td> </tr> </table>		クールビズ(5月～10月)／ウォームビズ(11月～3月)を実施	各社		オフィスの照明の消灯・減灯、エレベーター・エスカレーターの一部停止	各社		イントラネットで「節電対策コーナー」を新設し、日々の電力使用量を見える化	T&Dフィナンシャル生命		「太陽生命の森林」「太陽生命くつきの森林」における森林保全・育林活動	太陽生命		アンケート連動募金によるNPO法人「里山保全再生プロジェクト」への支援	グループ共同		UNEP(国連環境計画)公式機関誌の発行などを行う、公益財団法人「地球友の会」への支援	T&Dホールディングス
		クールビズ(5月～10月)／ウォームビズ(11月～3月)を実施	各社																
		オフィスの照明の消灯・減灯、エレベーター・エスカレーターの一部停止	各社																
		イントラネットで「節電対策コーナー」を新設し、日々の電力使用量を見える化	T&Dフィナンシャル生命																
	「太陽生命の森林」「太陽生命くつきの森林」における森林保全・育林活動	太陽生命																	
	アンケート連動募金によるNPO法人「里山保全再生プロジェクト」への支援	グループ共同																	
	UNEP(国連環境計画)公式機関誌の発行などを行う、公益財団法人「地球友の会」への支援	T&Dホールディングス																	